

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（１）補助事業名

防災関連事業

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（２）事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 9～11 月頃

②実施場所又は地域

中本地域内及び中本小学校

③対象者及び参加人数

対象者：中本地域住民

参加者：約 200 人

スタッフ：約 50 人

④実施内容・方法

防災リーダーを中心に地域住民の避難訓練を実施する。ただし、コロナ禍の状況により規模の縮小等、防災意識向上の事業を検討する。

⑤他団体との連携

中本災害救助部、東成防犯協会中本支部、中本女性会、中本小学校

（３）事業目的

地域住民の防災意識を促進し、住民参加による地域コミュニティ作りを目的とする。

（４）効果測定方法と達成目標

参加者へのアンケート調査を実施し、防災意識が高まったと感じた割合 70%以上を目指す。

（５）広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（ ）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

(1) 補助事業名

歳末夜警

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

(2) 事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 12 月 28・29 日

②実施場所又は地域

南中本公園会館を夜警本部として、中本地域全域で実施

③対象者及び参加人数

対象者：中本連合振興各町会、防犯支部員を中心に、中本地域全住民

参加者：約 60 名×2 日 スタッフ数：約 50 名×2 日

④実施内容・方法

中本連合振興各町会、東成防犯中本支部員、中本女性会などの協力を得て、地域全域を巡回しながら歳末夜警を行う。ただし、コロナ禍の状況により実施内容を検討する。

⑤他団体との連携

中本連合振興町会、東成防犯協会中本支部、中本女性会など

(3) 事業目的

歳末多発する街頭犯罪抑止、防火意識の向上を呼びかけ、地域の安全で安心なまちづくりを目的とする。

(4) 効果測定方法と達成目標

参加者数などの実績状況から効果を測定し、2 日間の実施で参加者数約 120 人を目標とする。

(5) 広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（ ）

令和4年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（1）補助事業名

児童見守り活動

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（2）事業概要

①実施日時又は期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

時間：中本小学校児童の下校時間帯

②実施場所又は地域

中本小学校校区内 登下校通路の主な交差点など

③対象者及び参加人数

対象者：中本小学校児童 参加人数（兼スタッフ）：約70名

④実施内容・方法

中本小学校児童の下校時間に各曜日・指定場所を分担して受け持ち、見守りを実施する。

⑤他団体との連携

中本連合振興各町会、中本小学校、中本小学校PTA、リアン東さくら

（3）事業目的

中本小学校児童の下校時に見守りを実施して、児童の安全と街頭犯罪の撲滅、中本地域の安全で安心なまちづくりを目的とする。

（4）効果測定方法と達成目標

年間を通じた実績状況から効果を測定し、参加人数70人以上を目指す。

（5）広報の方法

ポスター・回覧 ブログ・その他（地域新聞）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（１）補助事業名

餅つき大会

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（２）事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 12 月頃

②実施場所又は地域

中本地域

③対象者及び参加人数

対象者：中本小学校児童らを中心に地域住民 参加人数：約 200 名

スタッフ数：約 30 名

④実施内容・方法

子ども会を中心に地域と小学校 P T A が協力して餅つき大会を実施する。餅つきの際は子どもたちにも体験させるなど、交流が図れるよう行う。ただし、コロナ禍の状況により開催できない場合は内容を検討する。

⑤他団体との連携

中本社会福祉協議会、中本小学校 P T A ・青少年福祉委員会・青少年指導員会・子ども会

（３）事業目的

子どもたちに餅をついてもらい、P T A ・子ども・地域との交流を目的とする。

（４）効果測定方法と達成目標

参加者へのアンケート調査により効果を測定し、交流が図れたと感じた割合 70%以上を目指す。

（５）広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（地域新聞）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（１）補助事業名

献血運動

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（２）事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 6 月頃 時間：9：30～15：30

②実施場所又は地域

中本小学校

③対象者及び参加人数

対象者：中本地域の全住民 参加人数：約 140 名 スタッフ数：約 50 名

④実施内容・方法

日本赤十字血液センターと協力して、献血への協力を呼びかけ、参加者には啓発物品を配付。
また、中本校区の食生活改善推進員協議会による健康改善の啓発活動を行う。

⑤他団体との連携

中本災害救助部、中本母子会、食生活改善推進員協議会中本校区、日本赤十字血液センター

（３）事業目的

献血を通じて、病気や怪我で血液を必要としている人々に貢献し、同時に自身の健康状態を知ること
で健康改善の啓発を行う。

（４）効果測定方法と達成目標

参加者へのアンケート調査により効果を測定し、健康意識が高まったと感じた割合 70%以上を目指す。

（５）広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（地域新聞）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（１）補助事業名

敬老のつどい

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（２）事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 9 月頃

②実施場所又は地域

中本地域

③対象者及び参加人数

対象者：中本地域に居住する 70 歳以上 約 1000 名 参加人数：約 500 名

スタッフ数：約 80 名

④実施内容・方法

事前に対象者を調査し、プログラム兼案内状を配付。プログラム内容は、第 1 部式典では会場最高齢者・金婚夫婦へのお祝い、児童祝辞、長寿万歳などを行い、第 2 部では演芸会や抽選会などを実施する。ただし、コロナ禍の状況により式典が開催できない場合は内容を検討する。

⑤他団体との連携

中本地域活動協議会関連の諸団体

（３）事業目的

地域内の高齢者を対象に、長年社会の発展に寄与されてきたことを感謝するとともに、地域住民に対して高齢者福祉への関心と理解を深めることを目的とする。

（４）効果測定方法と達成目標

参加者へのアンケート調査により効果を測定し、実施内容が良かったと感じた割合 70%以上を目指す。

（５）広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（地域新聞・案内状）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（１）補助事業名

中本小学校体育施設開放事業

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（２）事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

②実施場所又は地域

中本小学校施設内など

③対象者及び参加人数

対象者：中本地域全住民 参加人数：約 1,500 名 スタッフ数：約 30 名

④実施内容・方法

中本小学校体育施設を地域住民に開放し、スポーツ（ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、卓球など）やレクリエーションなど地域住民の健康増進やコミュニケーションが図られる各種活動を実施する。ただし、コロナ禍の状況により規模の縮小等もある。

⑤他団体との連携

中本小学校 P T A ・中本青少年福祉委員会・中本青少年指導員会・子ども会

（３）事業目的

中本小学校の体育施設を地域住民が利用することにより、スポーツを通じた体力の増進と健康維持や地域住民同士のコミュニケーションを図ることを目的とする。

（４）効果測定方法と達成目標

利用者数や施設利用回数などの実績状況により効果を測定し、利用者数約 1,500 名、施設利用回数 100 回以上を目標とする。

（５）広報の方法

ポスター・回覧 ブログ・その他（利用者間の連絡網）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（１）補助事業名

本庄中学校体育施設開放事業

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（２）事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

②実施場所又は地域

本庄中学校校庭及び講堂

③対象者及び参加人数

対象者：本庄中学校下地域住民 利用者：約 2000 人 スタッフ：約 50 名

④実施内容・方法

本庄中学校体育施設を地域住民に開放し、スポーツやレクリエーションなど地域住民の健康増進やコミュニケーションが図られる各種活動を実施する。ただし、コロナ禍の状況により検討する。

⑤他団体との連携

本庄中学校 P T A ・各スポーツ同好会

（３）事業目的

本庄中学校の体育施設を地域住民が利用することにより、スポーツを通じた体力の増進と健康維持を図り地域住民同士のコミュニケーションを図ることを目的とする。

（４）効果測定方法と達成目標

利用者数、施設利用回数などの実績状況により効果を測定し、利用者数約 2000 人、施設利用回数 100 回以上を目標とする。

（５）広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（利用者間の連絡網）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（１）補助事業名

南中本公園清掃

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（２）事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

②実施場所又は地域

南中本公園及び周辺

③対象者及び参加人数

中本地域全住民 参加人数（兼スタッフ）：約 600 名

④実施内容・方法

地域活動協議会を構成する各種団体を中心に毎月 3 団体、また 12 月のみ中本連合振興町会 8・9・10 町会合同で、南中本公園およびその周辺の清掃活動を行う。

⑤他団体との連携

中本連合振興町会（第 8・9・10 町会）・中本女性会・中本米寿会・真如苑

（３）事業目的

南中本公園清掃を実施し、地域住民に整った環境の憩いの場を提供する。

（４）効果測定方法と達成目標

参加者数や実施回数などの実績状況により効果を測定し、参加者数 600 名以上、実施回数 40 回以上を目標とする。

（５）広報の方法

ポスター・回覧 ブログ・その他（地域新聞）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

(1) 補助事業名

生涯学習ルーム事業

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

(2) 事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

②実施場所又は地域

中本小学校及び南中本公園会館

③対象者及び参加人数

対象者：中本地域全住民 参加人数：約 500 名 スタッフ数(推進員含む)：約 30 名

④実施内容・方法

- ・中本小学校生涯学習ルームや多目的室、南中本公園会館などを活用し、様々な文化活動や学習機会を提供する。リラックスヨガ、自力整体、書道教室、フラワーアレンジメント、民謡教室等を実施する。ただし、コロナ禍の状況により実施内容を検討する。
- ・生涯学習推進員の研修の受講。
- ・生涯学習推進員等による会議の実施。

⑤他団体との連携

中本小学校

(3) 事業目的

小学校の多目的室等を活用し、地域住民に身近な場所で学習の機会や交流の場を提供することにより、地域における生涯学習の機会の充実を図る。

(4) 効果測定方法と達成目標

参加者数や講座回数などの実績状況により効果を測定し、参加者数約 500 名、講座回数 40 回以上を目標とする。

(5) 広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（地域新聞）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

(1) 補助事業名

地域新聞

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

(2) 事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

②実施場所又は地域

中本地域および東成区内

③対象者及び参加人数

対象者：中本地域全住民（約 2400 世帯）と東成区内（区役所や一部の事業所など）

参加人数（兼スタッフ）：7 名

④実施内容・方法

- ・中本地域で実施される活動や行事、地域の様子などをブログと紙媒体の両方で地域住民や区内に広く伝え、広報紙については年 3 回（2500 部/回）発行する。今年度は地域の人物にスポットを当て、廃材を利用して作品を作るアーティストや福祉活動に携わる方などを取材する。
- ・紙面の編集などの会議を実施する。

⑤他団体との連携

中本地域活動協議会関連の諸団体

(3) 事業目的

ホームページや地域ブログ等の IT 関連の媒体だけでなく、パソコンなどの操作が出来ない住民には地域行事等を紙媒体で知らせることにより地域のコミュニティ作りを促進することを目的とする。

(4) 効果測定方法と達成目標

発行回数などの実績状況により効果を測定し、発行回数年 3 回、発行部数 7500 部を目標とする。

(5) 広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（地域新聞）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（１）補助事業名

はぐくみネット事業

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（２）事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

②実施場所又は地域

中本小学校と中本地域

③対象者及び参加人数

対象者：中本小学校児童、中本小学校 P T A と地域住民 参加人数：約 2,000 名

スタッフ数：約 50 名

④実施内容・方法

地域の教育資源を活用したイベント、昔遊び、料理作り教室、広報紙の発刊（500 部年 1 回発行）課外授業（囲碁、将棋、書道、生け花等）などを実施する。ただし、コロナ禍の状況により実施内容を検討する。

⑤他団体との連携

中本女性会、食生活改善推進員協議会中本校区、米寿会、中本小学校 P T A 等

（３）事業目的

地域の教育資源を学校教育に導入するなど、地域に開かれた学校作りを進め、子供達の「生きる力」を育むと共に、学校・家庭・地域が一体となった総合的な教育力を発揮し、地域における人と人のつながりによって子供達を育むコミュニティづくりを推進する。

（４）効果測定方法と達成目標

参加者数や実施回数などの実績状況により効果を測定し、参加者数約 2,000 名、実施回数 45 回以上を目標とする。

（５）広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（広報紙）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

(1) 補助事業名

なかもとフェスティバル

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

(2) 事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 11 月頃

②実施場所又は地域

南中本公園及び南中本公園会館

③対象者及び参加人数

対象者：中本地域全住民 参加人数：約 200 名

スタッフ数：約 50 名（設営・開催・撤収時含む）

④実施内容・方法

南中本公園にテントを設置してオープンカフェ、会館では密を避けてのカフェ等を実施。家族連れに楽しんでもらえるようなゲーム等を公園で実施する。事前に実行委員会メンバーの募集を地域住民に行い、事業実施に向けて協議する。ただし、コロナ禍の状況により規模の縮小等検討する。

⑤他団体との連携

中本地域活動協議会の各構成団体、ひがさくクリエイト、健美道治療院

(3) 事業目的

コロナ禍において地域の活動が減りつながりが薄れていく危機感の中、様々な年代が楽しめる場を創り、さらに幅広い地域住民の担い手づくりを目的とする。

(4) 効果測定方法と達成目標

参加者へのアンケート調査により効果を測定し、楽しく参加できたと感じた割合 70%以上を目標とする。

(5) 広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（地域新聞）

令和 4 年度

東成区地域活動協議会補助金（活動費補助金）

中本地域

事業計画書

（１）補助事業名

中本憩の家管理事業

※指定分野（該当する活動分野の番号に○をしてください）

1. 防犯防災 2. 子ども青少年 3. 福祉 4. 健康 5. 環境 6. 文化スポーツ 7. 学校連携

（２）事業概要

①実施日時又は期間

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

②実施場所又は地域

中本憩の家

③対象者及び参加人数

対象者：中本地域全住民 参加人数：約 2,000 名 スタッフ数：約 14 名

④実施内容・方法

憩の家を管理・運営することにより活動の場を提供する。

（4 月～8 月現在の憩の家を使用・9 月以降仮事務所に移転予定）

⑤他団体との連携

中本連合町会、中本社会福祉協議会、米寿会等

（３）事業目的

地域住民の教養の向上、趣味やレクリエーションの場とすることによって互いの交流を深めると共に心身の健康と福祉の増進を目的とする。

（４）効果測定方法と達成目標

参加者へのアンケート調査により効果を測定し、交流が図れたと感じた割合 70%以上を目指す。

（５）広報の方法

ポスター・回覧・ブログ・その他（地域新聞）